

# 平成28年度 第1回磐田市在宅医療介護連携推進協議会次第

平成28年6月8日（水）午後7時00分～午後8時30分

あい

i プラザ（磐田市総合健康福祉会館）2階 ふれあい交流室2

## 1. 開 会

## 2. 会長挨拶

## 3. 議事・協議

（1）いわた医療・介護ガイドブック配布について【資料1、2】

（2）市民意識調査（案）について【資料3-1、3-2】

（3）在宅医療介護連携支援相談窓口について【資料4】

（4）多職種グループワーク研修について【資料5】

（5）みんなでつくる“磐田市の地域包括ケア”を考える講演会について

【資料6】

（6）意見交換

## 4. その他

（1）平成28年度第2回協議会 日程 平成28年9月 日（水）19:00～

会場 あい i プラザ（磐田市総合健康福祉会館）2階 ふれあい交流室

## 5. 閉 会

## 平成 28 年度 在宅医療・介護連携推進事業計画

1 地域の医療・介護の資源の把握□ **医療・介護ガイドブックの情報更新（ホームページ上）**

必要な情報を追加し、調査を実施する。

2 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討□ **磐田市在宅医療介護連携推進協議会の運営**

市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域をつくることを目的に、在宅医療及び介護に携わる関係者が円滑な連携を図るために必要な事項を協議するため、磐田市在宅医療介護連携推進協議会を置く。

第 1 回協議会 28 年 6 月 8 日

第 2 回協議会 28 年 9 月（予定）

第 3 回協議会 29 年 2 月（予定）

□ **市民意識調査を実施**

医療全般や在宅医療についての市民の意識を明らかにすることにより、今後の施策に反映させる。市民 3,000 人に郵送配布・郵送回収、11 月頃予定

3 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進□ **地域密着型サービス充実の検討**

24 時間対応の「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」など、新たなサービス創設を検討する。

※「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」

介護職員と看護師が一体または密接に連携し、利用者の連絡に対し随時対応

4 医療・介護関係者の情報共有の支援□ **地域包括支援センター、ケアマネ連絡会等への情報提供**

連絡会議等へ行政職員が参加し、情報提供するとともに、各機関における現状などの把握に努め、情報の共有化を図る。

□ **地域ケア会議の開催**

地域包括支援センター単位で開催される地域ケア会議において、医療・介護関係者が一堂に会し、事例検討を通し、情報の共有化を図る。

□ **在宅医療における病診・診診連携についての意見交換会の開催（磐田医師会）**□ **静岡県版在宅医療連携ネットワークシステムの試行（磐田市医師会）**5 在宅医療・介護連携に関する相談支援□ **在宅医療・介護連携支援相談窓口設置**

医療・介護それぞれからの相談窓口のニーズを確認し、来年度以降の窓口のあり

方について検討する。

※28年4月、健康増進課内に窓口を設置。相談業務を実施する。相談内容や業務量等を検証し、29年度以降の体制を検討する。

□ **医療機関・介護サービス事業所訪問**

状況確認と、医療・介護の情報提供をすることにより、今後、受け入れの幅を広げていただくための支援を検討。

6 医療・介護関係者の研修

□ **多職種連携のための事業所間交流研修の実施**

多職種・他機関の従事者が、お互いに顔や業務が見え、相談し合える関係を築く一助となることを目的に実施する。

- ・多職種、他事業所の仕事内容を知る
- ・地域で一緒に働いている「人」を知る
- ・事業所間で相互理解を深め、相談できる関係を築く

[28年度計画]

4～6月：研修者受け入れ事業所募集

8～11月：研修者募集

9～12月：研修の実施

1～2月：報告会

□ **多職種グループワーク研修の実施**

地域で働く専門職が、それぞれ職種の専門性や役割を再確認し、他職種の専門性や役割を知り、研修後の実際の連携につなげる。

[日時] 平成28年8月1日(月)19時～21時30分 2回目は12月を予定

[内容] 1つの事例を通し、同職種・多職種でグループワークを行う

7 地域住民への普及啓発

□ **市民・関係者を対象とした講演会の開催**

みんなでつくる“磐田市の地域包括ケア”を考える講演会

[講演] 長尾クリニック(兵庫県尼崎市) 医師 長尾和宏氏

[日時] 平成29年2月25日(土) 午後1時30分から(予定)

[場所] 磐田市民文化会館

□ **出前講座メニュー新設**

No.31 知っておこう 磐田市の医療と介護の資源

8 在宅医療・介護連携に関する関係市町の連携

□ **西部7市における地域包括ケアシステム推進部署の連携強化**

各市における地域包括ケアシステムの担当部署を明確化し、情報共有・情報交換の円滑化や顔の見える関係づくりの推進に向けた体制を整備する。

在宅医療に関するアンケート調査へのご協力のお願い

日頃から磐田市の保健行政について、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

皆様すでにご存知のとおり、わが国では急速に高齢化が進み、磐田市においても高齢化率は、2016年（平成28年）3月末現在、27.0%となり、2025年（平成37年）には、推計で30.2%となる見込みです。

このような中、医療や介護を必要とする方もますます増加していくものと予想され、市民の皆様ができるかぎり住み慣れた地域で自分らしく生活できるための体制づくりに、医療や介護関係者等とともに取り組んでいます。

そこで、市民の皆様が、地域医療・在宅医療等についてどのようなお考えや受け止め方をされているのか伺い、今後の市政の参考とさせていただくために、アンケート調査を実施することとしました。

主旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

**【アンケート調査対象】**

市内にお住いの20歳以上の方 3,000名（無作為抽出）

**【個人情報の取り扱いについて】**

回答内容は、統計的に処理するためアンケートに記載された内容がそのまま公開されることはなく、調査結果は上記目的以外に使用することはありません。

平成28年11月

磐田市

<調査票のご記入にあたって>

○1 ページ左上の学区番号は、あなたのお住いの中学校区を表したもので、あなたのお名前が分かるものではありません。地域別集計を行う際に必要となりますので、消さないようお願い致します。

○ご記入いただいた調査票は、11月30日（水）までに同封の返信用封筒に入れて郵便ポストにご投函ください。切手は不要です。

問合せ 磐田市健康福祉部健康増進課健康支援グループ（iプラザ3階）

電話：0538-37-2011 / FAX：0538-35-4586

E-mail：kenko@city.iwata.lg.jp



### Ⅲ在宅医療・介護について

問6-1 今までに、あなたご自身や周りの方が、自宅で医療や介護のサービスを利用したことがありますか

- 1 ある 2 ない

問6-2 「ある」を選択した方は、どのようなサービスを利用しましたか

- 1 訪問診療（医師が定期的に自宅等に訪問して診療する）  
2 往診（医師が緊急時等に自宅等に訪問して診療する）  
3 訪問歯科診療（歯科医師が自宅等に訪問して診療する）  
4 訪問看護 5 訪問介護 6 訪問入浴介護 7 訪問リハビリテーション  
8 通所介護・リハビリテーション（デイサービス・デイケア） 9 ショートステイ  
10 福祉用具貸与（ベッドや車いす等のレンタル） 11 福祉用具購入

問7-1 あなたは、医療や介護が必要になって長期の療養が必要となった時、主にどこで過ごしたいですか

- 1 自宅 2 有料老人ホームやサービス付高齢者向け住宅等  
3 特別養護老人ホームなどの介護施設 4 病院 5 その他（ ）

問7-2 あなたは、家族に医療や介護が必要になって長期の療養が必要となった時、主にどこで過ごしてもらいたいですか

- 1 自宅 2 有料老人ホームやサービス付高齢者向け住宅等  
3 特別養護老人ホームなどの介護施設 4 病院 5 その他（ ）

問8-1 あなたは、終末期（治る見込みがなく死期が迫っている）をどこで過ごしたいですか

- 1 自宅 2 有料老人ホームやサービス付高齢者向け住宅等  
3 特別養護老人ホームなどの介護施設 4 病院  
5 ホスピス等の緩和ケア施設 6 その他（ ）

問8-2 「自宅」以外を選択された理由は何ですか

- 1 介護する家族がないから 2 家族の負担になるから  
3 病状の悪化や急変が不安だから 4 経済的に負担だから  
5 住宅環境が整っていないから 6 イメージがわからないから  
7 最期は病院で迎えるものと思っているから  
8 自宅で適切な医療や介護を受けられないと思わないから  
9 なんとなく 10 その他（ ）

問9-1 あなたは、自分が治る見込みがなく死期が迫っていると告げられた場合、延命治療を望みますか

- 1 望む    2 どちらかという望まない    3 望まない    4 わからない  
5 その他 ( )

問9-2 あなたは、自分の意思を伝えられなくなった場合に備えて、延命治療の希望等を記載した書面を作成しておきたいと考えますか

- 1 すでに作成済み    2 作成したい    3 作成したいと思わない    4 わからない

問9-3 終末期医療や看護、看取りについて、家族と話題にすることはありますか

- 1 よくある    2 たまにある    3 全くない

問10 在宅で医療や介護を受けることについてどのようなイメージをお持ちですか  
それぞれ該当する数字を○で囲んでください。

	とてもそう思う	やや思う	あまり思わない	思わない
ア. 在宅でどのような医療を受けられるかわからない				
イ. 在宅でどのような介護サービスを受けられるかわからない				
ウ. 急に病状が変わった時の対応ができない				
エ. 訪問診療をしてくれる医師を見つけるのが難しい				
オ. 訪問看護でどのようなサービスを受けられるかわからない				
カ. 訪問診療・看護では十分な医療が受けられない				
キ. 家族に負担がかかる				
ク. 部屋や風呂・トイレなど住環境が整っている必要がある				
ケ. 費用が高額になる				
コ. 今ではがん末期でも痛みをコントロールをしながら在宅で過ごすことができる				
サ. 在宅でも満足いく最期を迎えられる				
シ. 医師や看護師の訪問が精神的負担になる				
ス. その他のイメージがあればお書きください ( )				

## 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- 目的・・・相談窓口の運営には、地域の在宅医療・介護連携を支援する人材を配置し、相談の受付、連携調整、情報提供等の機能を確保し、連携事業の取組を支援。特に介護関係者からの相談については、既存の包括支援センターの役割を前提に包括と連携し対応すること。
- 相談員の人物像・・・看護師・医療ソーシャルワーカーなど、医療に関する知識を有し、介護支援専門員の資格を持つ者など、介護に関する知識を有し、実務経験を有する人材の配置が望ましいとされている。

## 磐田市としての考え方

平成 28 年度 4 月から、健康福祉部内に相談窓口を試験的に設置し、実際に在宅医療・介護等を担う専門職が、日ごろの業務でどのようなことで困っているのか、どのような問題を抱えているのかを把握し、磐田市として、在宅医療・介護連携に関する相談支援に関する相談窓口の在り方を検討することを目的とする。

なお、人材については、新たに新規採用等により確保するものでなく、現行の体制の中に於いて、行政保健師等を当てることとし、業務負担等についても検証を行う。

## ○在宅医療介護連携支援相談窓口（平成 28 年 4 月～健康増進課内設置）

地域包括支援センター長会議、竜洋・南部・福田・中部・豊田・北部包括ネットワーク会議、ケアマネ連絡会にてチラシを配布。

今後、介護サービス事業者連絡会（6 月）、三師会合同懇談会（7 月）等にて周知予定。

平成 28 年 5 月末現在、相談件数は 4 件。

- ① 障害者虐待疑いケース（介護認定あり、医療、介護サービス、包括の関わりあり）福祉課障害福祉グループ担当者と情報共有、サービス担当者会議に出席し、ケースの状況確認をした。
- ② 外国人の在宅療養に関する相談  
サービス提供時の言語の問題について、行政での対応を説明。
- ③ 介護申請について  
病院から退院する際の介護申請の必要性、タイミングについての相談  
介護保険室、病院と調整をし、話合う場の設定を双方に投げかけた。
- ④ ケアマネとの関わり、ケアプランについての相談  
本人の状態に合ったケアプランか、家族の言いなりではないか  
包括主任ケアマネとケアプランについて検討し、今後の対応を検討



# 医療・介護・福祉関係機関の皆様へ 磐田市在宅医療介護連携支援相談窓口設置の お知らせ

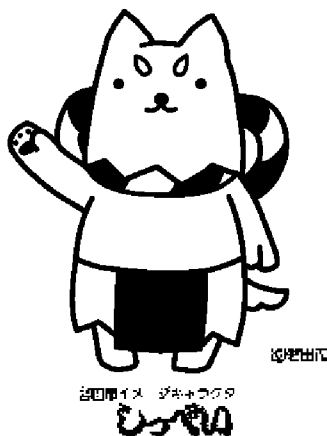
平成28年4月から、医療や介護関係者を対象とした、「磐田市在宅医療介護連携支援相談窓口」を設置しました。

この事業は、平成27年4月に介護保険法の地域支援事業の中に制度化された、「在宅医療・介護連携推進事業」の1つである、「在宅医療・介護連携に関する相談支援」として実施します。

地域の医療・介護関係者のための相談窓口です

在宅医療・介護連携に関する事項の相談の受付、  
連携調整、情報提供、地域包括支援センターとの連携、  
地域ケア会議への出席等していきます

みなさんに育てていただきながら、  
機能を充実させていきたいと思っていますので、  
どうぞよろしくお願い致します



開設日：平日（年末年始除く）

開設時間：8時30分～17時15分

電話：0538-37-2011（磐田市健康増進課）

（PHS）070-5367-6678

FAX：0538-35-4586

E-mail：kenko@city.iwata.lg.jp

担当：健康増進課 保健師 佐伯

案

磐健健第 号  
平成 28 年 月 日

関係各位

磐田市健康福祉部健康増進課  
課長 佐原 直美

## 平成 28 年度 第 1 回多職種 GW 研修開催について（依頼）

日頃は、健康福祉行政に対し多大なご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市では、これからますます進む超高齢社会に備え、平成 27 年度から在宅医療・介護連携推進事業に皆様のご協力のもと、取り組んでいるところです。地域には、様々な専門職が活動しており、日々の業務の中、新たなつながりや連携でネットワークを構築していく機会や時間がなかなか取れないことと思います。

そこで、多職種が一堂に集まり同じ事例を通して、自分の職種の専門性や役割を再確認するとともに、地域にいる他職種の専門性や役割等を知ることで、より一層多職種連携が進むことを狙い、下記のとおり研修を企画しました。

今回は、職種ごとの人数の偏りを減らすため、また研修後の実際の連携につなげたいため、各職種における参加人数を各包括単位ごとに決めさせていただきます。また、趣旨をご理解いただき、参加申し込みをしていただきますようお願い申し上げます。

## 記

1. 日 時 平成 28 年 8 月 1 日（月）19：00～21：30（予定）
2. 場 所 磐田市総合健康福祉会館（i プラザ）<sup>あい</sup> 2 階 ふれあい交流室
3. 内 容 詳細別紙実施要領  
1 つの事例に対して、地域の同職種・多職種でグループワークを行う
4. 講 師 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室/  
医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所在宅看護専門看護師 山岸暁美氏  
（医療福祉博士、地域看護専門看護師、社会福祉士）
5. 対象者 磐田市医師会・磐周医師会・磐周歯科医師会・磐田薬剤師会 会員  
介護サービス事業所、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、  
磐田市立総合病院、市関係課
6. その他 別紙参加者推薦書にご記入の上、7 月 8 日（金）までに下記担当まで  
ご提出ください。  
なお、2 回目は 12 月初旬を予定しています。（同内容の研修です）

## [担当]

磐田市健康増進課 健康支援グループ 佐伯・菊崎

〒438-0077 磐田市国府台 57-7（i プラザ内）

電話 健康支援グループ（0538）37-2011

FAX （0538）35-4586

e-mail kenko@city.iwata.lg.jp

## 平成 28 年度 第 1 回 多職種 GW 研修実施要領

### 1 目的

地域で働く専門職が、それぞれ職種の専門性や役割を再確認し、他職種の専門性や役割を知り、多職種連携の必要性を理解する。

顔が見える関係の構築により、相互連携及び情報共有のしやすさが増し、“つなぐ”役割をそれぞれが果たせるようになる。

研修後の実際の連携につなげる。

### 2 研修対象者

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・地域包括支援センター職員・リハビリ専門職・  
歯科衛生士・栄養士・介護支援専門員・介護福祉士・ホームヘルパー等

### 3 開催日程・会場

(1) 開催日 平成 28 年 8 月 1 日 (月) 19 時 00 分から 21 時 30 分まで (予定)

(2) 会 場 磐田市総合健康福祉会館 i プラザ<sup>あい</sup> 2 階 ふれあい交流室  
磐田市国府台 57-7

(3) 持ち物 筆記用具、お互いを知り合えるもの (名刺など)

(4) 日 程 (予定)

開会 (19:00)

あいさつ

講師講義・事例説明 (19:05)

同職種グループワーク (19:50)

多職種グループワーク (20:20)

発表 (20:50)

まとめ、講師講評 (21:10)

閉会 (21:30)

### 4 事例の概要

在宅での摂食・嚥下障害に関する事例

症例：70 代男性、身長・体重は 160 cm、42 kg、BMI 16.4

主訴：むせる、食べこぼす

病歴：脳梗塞後、食事中的むせが出てきた。1 か月前に肺炎 (誤嚥性疑い) のため 2 週間入院した。退院後、食事内容を普通食からキザミ食に変更したものの、肺炎前より食事のむせが多くなった。むせるので食べるのが億劫になり、最近 5 カ月で約 9 kg の体重減少を認めた。1 週間前の血液検査での A1b は 2.6。

# 長尾和宏

オフィシャルサイト  
プロフィール

尼崎の町医者の長尾です。  
どうぞよろしくお願ひします。

## 略歴

昭和59年 東京医科大学卒業 大阪大学第二内科入局  
昭和59年～ 聖徒病院勤務  
昭和61年～ 大阪大学病院第二内科勤務  
平成3年～ 市立芦屋病院内科勤務  
平成7年～ 尼崎市に長尾クリニック開業、現在に至る  
役職

医療法人社団裕和会・理事長  
長尾クリニック・院長

日本慢性期医療協会・理事  
日本ホスピス在宅ケア研究会・理事  
日本尊厳死協会・副理事長、関西支部長  
日本病態栄養学会・評議員  
日本静脈経腸栄養学会 地域連携推進委員会・委員  
全国在宅療養支援診療所連絡会・理事  
近畿在宅療養支援診療所連絡会・世話人  
一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会・理事  
一般社団法人抗認知症薬の適量処方を実現する会・代表理事  
NPO法人つどい場さくらちゃん・理事  
地方独立行政法人桑名市総合医療センター 研修管理委員会・委員  
前・尼崎市医師会地域医療連携・勤務医委員会委員長  
元・尼崎市内科医会会長  
元・兵庫県内科医会理事

## 【教職】

東京医科大学 客員教授(高齢総合医学講座)  
関西国際大学 客員教授  
関西学院大学 非常勤講師  
近畿大学医学部 非常勤講師

## 資格等



医学博士(大阪大学)  
日本消化器病学会 専門医  
日本消化器内視鏡学会 専門医、指導医  
日本内科学会 認定医  
日本在宅医学会 専門医  
日本禁煙学会 専門医

## 労働衛生コンサルタント

日本医師会認定産業医  
日本医師会認定健康スポーツ医

## 所属学会

日本内科学会

文字サイズ  


医療とは 介護とは 人間とは



## 著書

がんは人生を二度生きられる

2016年4月出版

がんは人生を二度生きられる  
青春出版   
社  
1,080円(税込)  
書籍の詳細へ



amazon.co.jp  
で買う


親の「老い」を受け入れる  
全国書店にて好評発売中！



amazon.co.jp  
で買う

認知症の薬をやめると認知症がよくなる人がいるって本当ですか？

全国書店にて好評発売中！


認知症の薬をやめると認知症がよくなる人がいるって本当ですか？  
現代書林   
社  
1,512円(税込)  
書籍の詳細へ



amazon.co.jp  
で買う

病気の9割は歩くだけで治る！  
～歩行が人生を変える29の理由～

6万部突破！amazonベストセラー1位！


病気の9割は歩くだけで治る！  
山と溪谷   
社  
1,296円(税込)  
書籍の詳細へ



amazon.co.jp  
で買う

長尾先生、「近藤誠理論」のどこが間違っているのですか？

2万部突破！好評発売中

ブックマン   
社  
1,404円(税込)  
書籍の詳細へ

日本消化器病学会  
 日本消化器内視鏡学会  
 日本静脈経腸栄養学会  
 日本禁煙学会  
 日本東洋医学会  
 日本在宅医学会  
 日本老年医学会  
 日本臨床死生学会  
 日本緩和医療学会  
 日本抗加齢医学会  
 日本統合医学会  
 日本プライマリーケア連合会

#### 所属研究会

日本慢性期医療協会(理事)  
 日本ホスピス在宅ケア研究会(理事)  
 日本在宅ホスピス協会  
 法と医療ネットワーク

#### 世話人・幹事

認知症治療研究会 世話人  
 大阪大学第二内科弥生会 幹事  
 ケアネット尼崎 代表  
 尼崎消化器疾患懇話会 世話人  
 尼崎肝疾患懇話会 世話人  
 阪神内分泌糖尿病セミナー 世話人  
 尼崎在宅NST研究会 世話人  
 尼崎多職種連携の会 世話人  
 阪神緩和医療研究会 世話人  
 阪神ホームホスピスを考える会 世話人  
 尼から連携の会 世話人  
 尼崎 在宅医療の病診連携を考える会 世話人  
 尼崎 生と死を考える会 代表世話人  
 在宅医療を考える会 代表世話人  
 梅村聡医師後援会 幹事  
 患者さんにとってより良い循環器医療を考える会 世話人

#### 公職

尼崎市介護認定審査委員会 F班委員長  
 尼崎市立琴ノ浦高校 校医  
 尼崎市医師会 地域包括ケア委員会 委員  
 尼崎市医師会 認知症ワーキンググループ委員  
 尼崎市医師会 代議員

#### 産業医

関西電力株式会社  
 関西電力サービス株式会社  
 株式会社エネゲート  
 株式会社カウカウフードサービス

